

取扱説明書（取付説明書）

車両入退場センサー おくだけガードマン

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使い下さい。
- 本書に記載のイラストは製品の外観を表現したのですが、サイズを正確に反映したものではありません。
- 商品の外観は予告なく変更する場合があります。



目次

● 安全上のご注意.....	1
● 部品構成（標準構成）.....	3
● 機器のスイッチ名称・働き.....	4
● 設置方法.....	5
● 検知距離設定と動作確認.....	6
● 機器の通信設定.....	7
● 設置後のご注意.....	7
● 主な仕様.....	8
● ご相談や修理について.....	10




安全上のご注意



歩行者や運転者への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明致します。以下の内容（表示・図記号）をよくご理解いただいてから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守り下さい。


誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区別して説明しています。



 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の可能性がります。

お守りいただく内容の種類を次の「図・記号」で区分けし説明しています。

	してはいけない内容です。
	注意しなければならない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">● 分解や改造をしない 分解、改造やケーブルの被覆を切って他の機器の電源を取るとは行わないようにして下さい。故障や火災、感電、事故の原因となります。● 電源の定格を超えて使用しない 発熱による火災の原因となります。● 濡れた手で触らない 感電の原因となります。● ケーブルに傷をつけない ケーブルに重いものを乗せたり、熱器具に近づけると火災、感電の原因となります。また、ケーブルにキズが付いたままご使用になると、本機内部に湿気や水が入り込み、故障や火災の原因となります。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常・故障時は直ちに使用を中止し電源を切る 煙が出たり、異常なおいや音がした場合は直ちに使用を中止し、電源を切ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 ● 機器は安定した場所に設置する 機器が倒れたりすると、歩行者、作業員、車両の接触事故の原因となります。三角コーンに設置する場合は、コーンベット（重り）を利用するなど、機器が安定した状態で設置されているか設置後の確認を十分行って下さい。 ● センサーや警報器を取り付けする際は、法律で規制されている範囲内となるように取り付ける 歩行者、作業員、車両の接触事故の原因となります。 ● 取り付けや取り外しは、専門技術者に依頼する 機器の取り付けや、交流（AC100V）の配線工事は専門業者へ依頼して下さい。故障や火災、事故の原因となります。
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が入った状態で接続ケーブルを抜き差ししない 機器を移動させる時など、移動させる前に必ず電源を切ってから接続ケーブルなどを外して下さい。火災や感電、故障の原因となります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品のご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本製品は車両及び人の通行をお知らせするものです。車両と作業員、または車両同士の事故防ぐものではありません。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両と作業員、または車両同士の事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
- 地震、雷、暴風雨及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他以上な条件下における使用により生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用及び維持管理はお客様の責任において行われるものとします。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の価格内とします。

部品構成

<部品構成（ご参考）>

- センサー本体（金具付）×1 台
- センサー用電源（AC100V・バッテリーボックス・ソーラー電源のいずれか）×1 式
- 警報器×1 台
- 警報器設置用 L 型金具（単管クランプ付）×1 台
- 警報器用電源（AC100V・バッテリーボックス・ソーラー電源のいずれか）×1 式

<オプション部品>

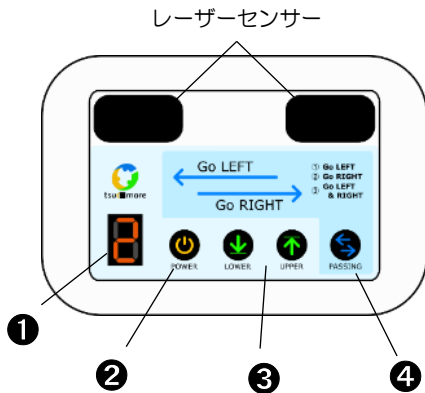
- リモコン（ストラップ付）
- LED 標示機用受信機

※商品が届きましたら欠品や余剰品がないか、あるいは破損・汚れ等がないかなど、まずご確認をお願いします。

※様々な構成が可能ですので、お買い上げいただいた機器構成のご確認をお願いします。

機器のスイッチ名称・働き

<センサー>



④ 検知方向設定スイッチ

検知する方向を設定します

① Go LEFT

左方向通過のみを検知します

② Go RIGHT

右方向通過のみを検知します

① 7セグLEDパネル

以下の表示を行います

(動作時)・検知距離

(設定時)・検知距離(上限・下限)

・検知方向(左・右・両方向)

② 電源スイッチ

電源をON/OFFします

③ 検知距離設定スイッチ

UPPER(上限)/LOWER(下限)

センサーの検知上限(下限)距離を設定

します。※0~9m(0.5mごと)

<7セグLEDパネル表示の見方>

設定時、スイッチを押すと、「一の位」→「小数第一位」の順に表示します

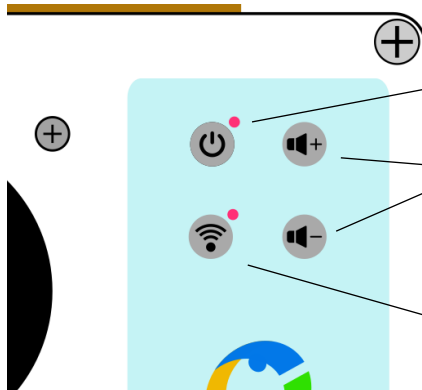
(例) 3.5mの場合=「3」→「5」と表示

(例) 7.0mの場合=「7」→「0」と表示

③ Go LEFT & RIGHT

左右、両方向を検知します

<警報器>



① 電源スイッチ

電源をON/OFFします

② 音量スイッチ

スピーカー音量を10段階で調節します

③ 通信設定スイッチ

ペアリングの設定を行います

設置方法

設置を行う前に必ず動作テストを行い、正常に動作することを確認して下さい。また、機器の設置、ケーブルの配線作業は必ず元の電源がオフの状態で行って下さい。

<センサー>

1. センサー本体を検知したい方向に向けて、三角コーン（単管パイプ）に設置する。
※機器が安定して設置されていることを確認して下さい。三角コーンを設置する場合、周囲の状況や設置面にご注意下さい。人や車両の通行、作業の妨げにならないようにして下さい。また、三角コーンが転倒しないように、コーンベース（重り）などを利用し適宜対策を行って下さい。
※センサーの方向（光軸）は、通過する車両（検知したい対象物）に対して垂直になるように設置して下さい。
2. センサー本体に電源ケーブルを接続する。（DC12V）
※コネクタの接続は緩みのないように“手で”接続（増し締め）を行って下さい。工具などを使用するとコネクタが破損する可能性があります。

<警報器>





1. 単管パイプに警報器設置金具を設置し、警報器本体をマグネットで設置する。
2. 警報器に電源ケーブルを接続する。（DC12V）

<LED 標示機用受信機>

1. LED 標示機とLED 標示機用受信機を専用ケーブルで接続する。
2. LED 標示機用受信機に電源ケーブルを接続する。（DC12V）

検知距離設定と動作確認

機器の設置後、検知距離・検知方向の設定と動作確認を行って下さい。

1. センサーの検知範囲に障害物が無いこと、人がいないことを確認する。
2. センサー及び警報器の電源をオンにし、機器に電源を供給する。
※電源 LED ランプ (POWER) が赤色に点灯していることを確認する。
3. 検知したい方向を設定する。
センサーの「PASSING」を押すごとに数字が表示されます。
 - ① Go LET 左方向に通過する車両・人を検知する
 - ② Go RIGHT 右方向に通過する車両・人を検知する
 - ③ Go LEFT & RIGHT 左右両方向に通過する車両・人を検知する
4. 検知エリア (上限値・下限値) を設定する。
 - ① 上限値を設定する
センサーの「UPPER」を押すごとに 7 セグ LED の表示が変わりますので、検知したい上限値を設定する。
※スイッチを押すごとに 2 つの数字が順に表示されます。(一の位→小数点一位)
⇒例) 3.5m に設定したい場合＝「3」→「5」
 - ② 下限値を設定する
センサーの「LOWER」を押すごとに 7 セグ LED の表示が変わるので、検知したい下限値を設定する。
5. センサーの検知範囲に人が近づいて、7 セグ LED パネルに検知距離が表示されることを確認する。
※検知エリア (上限値下限値) や検知方向などの設定、設置位置に関する検知状況に問題が無いか確認して下さい。
6. センサーが検知した場合に、警報器から音声が出力されていること、回転灯が回転していることを確認する。
※センサーが検知していない場合に警報器の動作が停止することを確認して下さい。
7. 警報器の「ボリュームスイッチ」でスピーカー音量を調節する。
8. 警報音の繰り返し回数を設定する。
 - ① 電源 OFF の状態で、 を押しながら電源をオンにする。
→設定モード
 - ② 警報音声の繰り返し回数を  と  で設定する。
→電源 LED ランプの点滅回数が繰り返し回数です。
※1 回 (約 11 秒) ～5 回 (約 55 秒)
 - ③  を押し、設定を確定する。

機器の通信設定（ペアリング設定）

センサー、警報器、リモコン、それぞれ複数台での運用が可能です。

<ペアリングの解除>

- 警報器の電源が ON の状態で、「通信設定スイッチ」を長押しします。（約 5 秒）
→通信設定スイッチ横の LED が 2 回点滅し、約 4 秒間点灯した後消灯します。
⇒ペアリング解除完了

<ペアリングの登録>

1. 警報器の電源が ON の状態で、「通信設定スイッチ」単押しします。
→LED が点灯し消灯します。⇒設定モード状態
2. センサーに車両（人でも可）を検知させる。（無線送信する）
※リモコンの場合は送信スイッチを押して下さい。
※センサーに車両などを検知させることが難しい場合は、「UPPER」「LOWER」を同時に単押しすると強制送信を行います。（「8」が点滅します）

⇒警報機の通信設定スイッチ横の LED ランプが点灯することを確認する。
3. 警報器の電源を OFF にし、再度 ON にします。

設置後のご注意

機器の設置後、以下の事項にご注意下さい。

- 注意喚起を行いたいエリアにおいて、機器が正常に検知する（警報が作動する）か、確認を行い、適宜センサーの方向・設定、設置位置などを調整して下さい。また、注意喚起を行いたくないエリア・通過方向で検知する（警報が作動する）ことが無いか確認を行って下さい。
- レーザーセンサーの特性上、以下のような場合に検知感度が変動する可能性があります。
 - 検知対象物が黒色、透明体（車両のヘッドライト部など）、鏡面体である時
 - センサー部に太陽光など強い光が当たっている時
 - 雨や霧などの環境である時
- センサー部が汚れたり埃が付いていたりすると正しく検知しない場合がありますので、定期的にセンサー部をご確認いただき、汚れている場合は柔らかい布などで拭いて下さい。
- 機器をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性の薬品で拭かないで下さい。
- 機器やケーブル、取り付けねじなど定期的な点検を行って下さい。

主な仕様

センサー本体	
型式	VTS-SCS-01
電源電圧	DC12V
消費電流	30mA
検知距離	0m～9m ※エリア設定可 (0.5m ごと)
投光用電源	赤外 LED
設定項目	電源：ON/OFF 検知エリア：上限/下限 検知方向：左/右/両方向
無線通信周波数	426MHz 帯 (4ch)
無線通信距離	見通し 200m ※ご使用環境による (長距離アンテナに変更：見通し 1 km)
外形寸法	161(W)×335.6(H)×114(D)mm ※設置金具含む
設置金具	三角コーン金具、単管クランプ金具

単三バッテリーボックス (センサー専用)	
型式	VTS-SBB-01
出力電圧	DC12V
出力電流	最大 1A
外形寸法	98.5(W)×82.3(H)×128.4(D)mm ※ケーブル・金具除く
重量	350g ※バッテリー含まず

単一バッテリーボックス	
型式	VTS-SBB-02
出力電圧	DC12V
出力電流	最大 1A
外形寸法	150(W)×112(H)×195(D)mm ※ケーブル・金具除く
重量	980g ※バッテリー含まず

警報器	
型式	VTS-SAL-01
電源電圧	DC12V ※AC アダプター
消費電流	約 0.5A (警報時) / 20mA (待機時)
警報音声	(ピンポン) 車が通ります、ご注意ください ※出荷時
音圧レベル	100dB
設定項目	電源：ON/OFF 音量：10 段階 通信：ペアリング設定
外形寸法	200(W)×131.5(H)×301(D)mm ※ケーブル除く、マグネット含む
重量	1.8kg ※マグネット含む
設置金具	底面マグネット (φ66) × 2 個 ※別途、単管設置用金具あり

リモコン（ストラップ付）	
型式	VTS-SCR-01
通信距離	見通し 200m ※ご使用環境による
外形寸法	63(W)×31(H)×12(D)mm ※ストラップ除く

ソーラーバッテリー（センサー用）	
型式	VTS-SBB-11
出力電圧	DC12V
蓄電容量	14Ah
ソーラーパネル	42W
外形寸法	490(W)×473(H)×25(D)mm（ソーラーパネル） 200(W)×150(D)×290(H)mm（バッテリーボックス）
重量	約 10kg（仮設スタンド含まず）
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・給電タイマー：ON/OFF 時間 ・インターバル動作 ・バッテリー用充電器 ・仮設スタンド（三脚）別途ご用意可

ソーラーバッテリー（警報器用）	
型式	VTS-SBB-12
出力電圧	DC12V
蓄電容量	80Ah
ソーラーパネル	42W
外形寸法	490(W)×473(H)×25(D)mm（ソーラーパネル） 465(W)×333(D)×322(H)mm（バッテリーボックス）
重量	約 25kg（仮設スタンド含まず）
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・給電タイマー：ON/OFF 時間 ・インターバル動作 ・バッテリー用充電器 ・仮設スタンド（三脚）別途ご用意可

LED 標示機用受信機	
型式	VTS-DBR-01
電源電圧	DC12V
設定項目	<ul style="list-style-type: none"> ・接点時間（ワンブッシュ（2 秒）/10 秒～90 秒まで 10 秒単位） ・ペアリング設定
外形寸法	125(W)×125(H)×70(D)mm ※アンテナ含まず

ご相談や修理について

ご相談や修理については、販売会社へご相談下さい。
その他のお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社ツクモア

<大阪本社>

〒530-0008 大阪府大阪市城東区関目 4-13-20 ツクモアビル 2F
Tel 06-7506-6082 Fax 06-7509-5591

<東京営業所>

〒194-0003 東京都町田市小川 6-21-12-2-102
Tel 042-850-6737 Fax 042-850-6738

<メールお問合せ>

info@tsucumore.com

<ホームページアドレス>

<https://tsucumore.com/>